



2025年6月号
第37号

地域支え合い推進員だより

◆4月から新たにふれあい・いきいきサロンが立ち上がりました◆

令和7年4月より、新たに2ヶ所のふれあい・いきいきサロンが立ち上がりましたので、ご紹介します。



参加者の方からは、「家にいても誰とも話することがないから、集まって話せる場ができて嬉しい」「顔は知っているけど、話したことがない方と話すきっかけになった」との声が聞かれ、サロンの立ち上がりを喜ばれていました。代表で民生委員の伊熊さんは、「身近な地域で、居場所があるといいと思っていた 細く長く続けていきたい」とお話ししてくださいました。



代表の羽場さんは、『「元気だった？」とお互いを気にし合える場になるといい。東新町のカラーを出し、みんなで助け合いながらやっていきたい』とお話ししてくださいました。

サロンの立ち上がりをきっかけに、地域の繋がりが広まっていくよう、これからもご支援させていただきます。

1ヶ所目は、味岡地区にある南岩崎台区の「南岩崎台サロンおしゃべり会」です。昨年の11月から開催され、4月から正式に立ち上がりました。初回では6名ほどの参加者でしたが、知り合い同士で誘い合うことで、開催を重ねるごとに参加者が増えて今では20名以上の方が集まり、大変賑やかな場となっています。



2ヶ所目は、中部地区にある東新町区の「東新町憩の場ハッピースマイル」です。10名ほどの方が集まり、こまき山体操と茶話会を楽しまれています。参加者の方からは、「ご近所同士の繋がりが薄くなっていると感じているので、多くの人が来てくれるようになるといい」とサロンへの期待の声が聞かれました。



◆地域で活躍する企業の方へ、インタビューVOL.6

地域支え合い推進員は、様々な企業と連携して支え合いのまちづくりをしています。地域貢献をしている企業をみなさんに知ってもらいたいと思い、小牧市で地域貢献活動をしている企業を紹介しています。今回は、ビスケット・クッキーを中心とした製造販売を行っている、キング製菓株式会社の専務取締役の菰田^{こもだ}さんにお話を伺いました。



寄付品(ビスケット)の受け取り

(左) 社協：澤木常務理事兼事務局長、(右) 菰田専務取締役

菰田さんが、子ども食堂等へ提供をしたいと思われたきっかけは、小牧市で会社を創立して70年以上と長期にわたることから、少しでも小牧市の役に立てればという思いや、甘いお菓子を食べて、「ホッと」気持ちが和らいでほしい、子ども食堂を中心として、子どもたちに安全安心なものを食べてもらいたいという思いをお話ししてくださいました。



ふれあい・いきいきサロン

キング製菓株式会社と昨年12月に、地域福祉推進パートナーシップ事業者の認定登録を行いました。こども食堂を中心に、自社で製造されたお菓子の一部をふれあい・いきいきサロン等にも提供していただいています。



子ども食堂

子ども食堂等への提供は、自社で製造したものが地域やフードロスへの貢献に役立っているということで、社内でも明るい話題となっているそうです。これからも、『皆様に安全安心なお菓子を提供する』というコンセプトのもとに、自然由来のものを使用したお菓子を提供していきたい』とお話ししてくださいました。

地域に根付いた企業のご協力が、地域活動を支えてくださっています。

小牧市社協では、このような地域活動を支えてくださる事業者を引き続き募集しています。詳しくは、下記へご連絡ください。



小牧市社会福祉協議会 地域福祉課 地域係 地域支え合い推進員

〒485-0041 小牧市小牧五丁目 407 番地 ☎ 65-7051(直通)